

令和 2 年 1 月 23 日 招集

令和 2 年門真市教育委員会第 1 回定例会

議 案 書

門 真 市 教 育 委 員 会



## 議事日程

門真市教育委員会第1回定例会  
令和2年1月23日（木）午後3時30分  
本館2階大会議室

日程	事件番号	件名	ページ
第1		会議録署名委員の指名	—
第2		会期の決定	—
第3	議案第1号	門真市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について	1
第4	議案第2号	市長の権限に属する事務の委任に係る協議について	3
第5	議案第3号	門真市少人数学級編制の実施その他のきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例施行規則の一部改正について	8
第6	議案第4号	門真市生涯学習複合施設の運営手法について	10
第7		諸報告	15

## 議案第 1 号

門真市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則  
の一部改正について

門真市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則（平成29年門真市教育委員会規則第 1 号）の一部を次のように改正するにつき、教育委員会の議決を求める。

令和 2 年 1 月 23 日 提出

門真市教育委員会教育長 久木元 秀平

## 提案理由

令和 2 年 4 月 1 日付け機構改革に伴い、現在教育委員会事務局教育部社会教育課で行っている事務のうち、教育委員会の権限に属する事務について、門真市長の補助機関である職員に補助執行させるため、必要な事項を定めるにつき、本案を提出するものである。

門真市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則

門真市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則（平成29年門真市教育委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
（市長の補助機関である職員に補助執行させる事務）	（市長の補助機関である職員に補助執行させる事務）
<b>第2条</b> <u>委員会は、次に掲げる事務のうち、</u>	<b>第2条</b> _____
<u>門真市地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23号第1項の規定に基づく職務権限の特例に関する条例（平成28年門真市条例第30号）本則各号に掲げるもの以外のものを市長の補助機関である市民文化部の職員に補助執行させるものとする。</u>	_____
<u>(1) 社会教育及び生涯学習の計画、調査研究及び推進に関すること。</u>	_____
<u>(2) 社会教育委員に関すること。</u>	_____
<u>(3) 社会教育関係団体の育成及び連絡調整に関すること。</u>	_____
<u>(4) 学校体育施設開放に関すること。</u>	_____
<u>(5) 前各号に掲げるもののほか、社会教育に関すること。</u>	_____
<u>2 略</u>	<u>1 略</u>
（補助執行に係る事務の専決等）	（補助執行に係る事務の専決等）
<b>第3条</b> <u>前条各項の規定により、補助執行することになる事務の専決等については、門真市教育委員会事務局事務処理規程（平成18年門真市教育委員会規程第3号）に定めるところによる。</u>	<b>第3条</b> <u>前条の規定により、補助執行することになる事務の専決等については、門真市教育委員会事務局事務処理規程（平成18年門真市教育委員会規程第3号）に定めるところによる。</u>

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

## 議案第 2 号

### 市長の権限に属する事務の委任に係る協議について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の2の規定により門真市長から門真市教育委員会へ委任されている次の事項について、取りやめたい旨協議があり同意するにつき、門真市教育委員会の議決を求める。

令和2年1月23日 提出

門真市教育委員会教育長 久木元 秀平

## 提案理由

令和2年4月1日付け機構改革に伴い、市長から教育委員会に委任されている事務の一部について、市長より委任の取りやめを行いたい旨の協議について同意するにつき、本案を提出するものである。



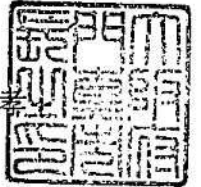
門企企第 872 号

令和 2 年 1 月 14 日

門真市教育委員会

教育長 久木元 秀平 様

門真市長 宮本 一孝



市長の権限に属する事務の委任の取りやめについて（協議）

門真市教育委員会に対する事務委任規則（平成 4 年門真市規則第 13 号）第 4 条の規定に基づき、市長の権限に属する事務の委任の取りやめについて、別紙のとおり、協議します。

## 市長の権限に属する事務の委任に係る協議について

### 1 協議内容

令和２年４月１日付け機構改革において、現在、教育委員会事務局で行っている社会教育課所管事務を市長部局へ移管することとなる。

このため、教育委員会に委任している事務の一部につき、委任の取りやめにあたって協議を行うもの。

### 2 委任を取りやめる事務

(1) 門真市青少年問題協議会の運営に関する事務

(2) その他青少年行政に関する事務で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第12号に規定する青少年教育に関する事務以外の事務

### 3 委任を取りやめる時期

令和２年４月１日とする。

### 4 その他

協議の同意後、「門真市教育委員会に対する事務委任規則（平成４年門真市規則第13号）」の改正を行う。



○門真市教育委員会に対する事務委任規則

門真市教育委員会に対する事務委任規則（昭和58年門真市規則第7号）の全部を改正する。

（教育委員会に委任する事務）

**第1条** 地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の2の規定に基づき、市長の権限に属する事務のうち次の事務を門真市教育委員会（以下「委員会」という。）に委任する。

- （1） 門真市青少年問題協議会の運営に関する事務
- （2） その他青少年行政に関する事務で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第12号に規定する青少年教育に関する事務以外の事務
- （3） 統計法（平成19年法律第53号）第2条第4項第3号の規定に基づく基幹統計の学校基本調査の実施に関する事務

一部改正〔平成12年門真市規則22号・21年9号・26年38号・27年25号・28年15号・29年5号〕

（権限委任の留保）

**第2条** 市長は、特に必要があると認めるときは、委員会と協議して前条の規定により委任した事務を自ら行うことができる。

追加〔平成26年門真市規則38号〕

（協議）

**第3条** 委員会は、第1条の規定により委任された事務であっても、重要な事項、異例若しくは疑義のある事項又は新規の事項については、あらかじめ市長に協議しなければならない。

追加〔平成26年門真市規則38号〕

（細目）

**第4条** この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が委員会と協議して定める。

追加〔平成26年門真市規則38号〕

**附 則**

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

**附 則**（平成12年4月24日門真市規則第22号）

（施行期日）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

（適用区分）

- 2 この規則による改正後の門真市教育委員会に対する事務委任規則第3号の規定は、平成12年4月1日から適用する。

**附 則**（平成21年 3 月31日門真市規則第 9 号）

この規則は、平成21年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成26年 3 月31日門真市規則第38号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の際、現に市長若しくは市長から委任を受けた福祉事務所長（以下「市長等」という。）がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）の前に市長等に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においてこの規則の相当規定により教育委員会又は門真市教育委員会教育長に対する事務委任規則（昭和51年門真市教育委員会規則第20号）の規定により教育委員会に置かれる補助機関（以下「教育委員会等」という。）が執行することとなる事務に係るものは、施行日以後における当該事務の執行については、教育委員会等がした処分その他の行為又は教育委員会等によりなされた申請その他の行為とみなす。

（規則の廃止）

- 3 門真市立保育所条例施行規則（平成元年門真市規則第 7 号）は、廃止する。

**附 則**（平成27年 3 月31日門真市規則第25号）

この規則は、平成27年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成28年 3 月18日門真市規則第15号）

この規則は、平成28年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成29年 2 月20日門真市規則第 5 号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成29年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の際、この規則による改正前の門真市教育委員会に対する事務委任規則（以下「旧規則」という。）の相当規定により門真市教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）の前に旧規則の相当規定により門真市教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後において市長が執行することとなる事務に係るものは、施行日以後における当該事務の執行については、市長がした処分その他の行為又は市長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

### 議案第 3 号

門真市少人数学級編制の実施その他のきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例施行規則の一部改正について

門真市少人数学級編制の実施その他のきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例施行規則（平成25年門真市教育委員会規則第8号）の一部を次のように改正するにつき、教育委員会の議決を求める。

令和2年1月23日 提出

門真市教育委員会教育長 久木元 秀平

### 提案理由

門真市少人数学級編制の実施その他のきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例（平成25年門真市条例第29号）の一部改正に伴い、所要の改正を行うにつき、本案を提出するものである。

門真市少人数学級編制の実施その他のきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例施行規則の一部を改正する規則

門真市少人数学級編制の実施その他のきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例施行規則（平成25年門真市教育委員会規則第8号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p><u>門真市立小学校及び中学校におけるきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例施行規則</u></p> <p>（趣旨）</p> <p><b>第1条</b> この規則は、門真市立小学校及び中学校におけるきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例（平成25年門真市条例第29号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。</p>	<p><u>門真市少人数学級編制の実施その他のきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例施行規則</u></p> <p>（趣旨）</p> <p><b>第1条</b> この規則は、<u>門真市少人数学級編制の実施その他のきめ細かな指導ができる教育環境づくりの実施に係る任期付市費負担教員の任用、勤務条件等に関する条例</u>（平成25年門真市条例第29号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。</p>

**附 則**

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

## 議案第4号

### 門真市生涯学習複合施設の運営手法について

門真市生涯学習複合施設の運営手法について、門真市長に報告するにつき、教育委員会の議決を求める。

令和2年1月23日 提出

門真市教育委員会教育長 久木元 秀平

## 提案理由

令和元年12月25日に開催された門真市総合教育会議において、門真市長より生涯学習複合施設の運営手法について意見が求められ、教育委員会において検討した内容を門真市長へ報告するにつき、本案を提出するものである。

令和2年1月23日

門真市立図書館長 様

門真市立図書館協議会  
委員長 藤本 幸二

生涯学習複合施設の運営手法について（委員意見要旨）

令和元年度第2回門真市立図書館協議会において、「生涯学習複合施設の運営手法について」意見交換を行いましたので、別紙の通り図書館協議会委員の意見をご報告いたします。

## 別紙

### 生涯学習複合施設の運営手法について (門真市立図書館協議会 各委員意見 抜粋)

- ・プロジェクトチームから提案された事業手法による解決についてはその通りだと思う。図書館が提供するサービスとして、学校との連携や他部局との連携は市が直接担わないとできないことを十分に留意してほしい。
- ・根幹業務は自治体が担うことを大事にしてほしい。
- ・指定管理者の導入は残念。門真市の方に丁寧に運営にかかわってほしい。図書館がどのような形になっても、図書館が事務局になり、これまでと同じように活動が円滑に行えるように、活動拠点としての図書館であってほしい。
- ・指定管理者制度は、一般的には反対されることもあるが、導入には、自治体の総合計画の関係、実現の観点から、電子資料や電子図書館サービスという新しい動きが特徴となっている。また、デジタル絵本を制作して皆で共有するなどの新しい図書館の形が生まれていることから指定管理はいかに素晴らしいかを強調したい。
- ・指定管理者が入って、保護者が連れていきたいと思えるような図書館であればいいと思う。私たちの仕事は絵本を読むことが大事なので、クラス単位で市民プラザ分館へ絵本を選びに行き、園で読んでいる。指定管理者が導入されると市民プラザ分館はどうなるのかなと思っている。しっかりと残してほしい。
- ・指定管理者制度の導入前から文化会館などを利用しているが、導入後は良くなった印象を持っているので、図書館に導入することについては、良いことではないかと思う。
- ・仕組みをどうしていくのが大事。そこをしっかりと、門真市が今までやってきた取り組みのいいところを維持しつつ、より一層効果的なことをやってほしい。
- ・図書館の組織を考えると、門真市行政全体の流れの中で、図書館の役割をどう位置付けるまで目配りするべき。賑いを作るのは図書館の役目の一つであるが、図書館でしかできないことではないことを十分に留意してほしい。
- ・午後5時以降の遅い時間まで開館延長できると取り組みの可能性が広がる。生涯学習の観点から、地域の出会いの場として子育て世代も利用できる形を考えてもらいたい。
- ・今あるいいことを引き継いでいくことが大切。施設ができる前に、吸収しなければいけないこと、良いところを残して、施設を作してほしい。
- ・小学生なら図書館見学、中学生なら職業体験で複合施設を利用すると、また行きたいと思える施設になると思う。小学生はそこで他のいろいろな小学生たちに出会い、夢を描き将来のモデルとなり得る大人との出会いがあり、複合施設に行けば何かがあるのでと期待ができるので、ぜひとも、早く建設してほしい。

令和2年1月23日

門真市教育委員会 様

門真市社会教育委員会議

副議長 船越 達也

生涯学習複合施設の運営手法について（委員意見要旨）

令和元年度第2回門真市社会教育委員会議において、第2回門真市立図書館協議会の議論を踏まえ、本会議においても「生涯学習複合施設の運営手法について」意見交換を行いましたので、別紙の通り社会教育委員の意見をご報告いたします。



## 別紙

### 生涯学習複合施設の運営手法について (社会教育委員会議 各委員意見 抜粋)

- ・民間が得意とする部分は民間に委ねることに異論はないが、市として長期的に責任をもつべき基幹業務については、市で責任を持ってやってほしい。
- ・子どもから高齢者までが、本を読まなくても1日過ごすことができるような、サードプレイスとしての役割も持った新しい図書館の構想が必要である。
- ・交流広場や文化会館等の利用者が図書館を利用してもらえるように、複合施設に図書館があることを最大限に活かしてほしい。
- ・図書館と文化会館が一体となって、子どもを中心にしつつ、多様な年代の人が集まるイベントをやっていく必要がある。
- ・指定管理者制度が導入されている文化会館は、掲示物等がきれいになり、利用者が増えている印象がある。
- ・指定管理者が責任を持って設計段階から関与することは、合理的で有効である。
- ・細かな打合せを業者とできるよう、十分な期間を確保してほしい。
- ・地域ですでに取り組みされているいろいろな行事と指定管理者がもつ様々なノウハウを活かしたイベントを実施してほしい。
- ・子どもの意見を取り入れることが必要である。
- ・不登校や引きこもりの子など、足を運ばなかった子が集まってくるような取り組みが必要である。
- ・指定管理者に対する枠を決め過ぎず、本に触れるきっかけづくりとなる賑わいを創出することが本市にとって重要だと考える。
- ・絵本の読み聞かせ、絵本の広場などの取り組みを継続してほしい。
- ・家族が集まるようなイベントをやしてほしい。

#### (まとめ)

以上を踏まえ、市長からの提案に対していずれも賛同を得られたが、以下の点に留意されたい。

#### ○図書館を含む生涯学習複合施設へ指定管理者を導入するという点について

事業者の持つノウハウを積極的に活用して、図書館の機能も果たしつつ複合施設の強みで賑わいを生み出すことを期待する。限られた指定管理期間中にしっかり成果を出す事業者を選定することが大事である。

#### ○基本設計の前に指定管理者を早期に決定するという点について

施設完成後に意見するのではなく、設計段階で指定管理者の意見を反映する手法は、運用を見据えることで問題を早期に解決でき、今までにない成果を生み出すのではないか。その上でチェック機能を働かせながら指定事業者と市との連携を高めていく必要がある。

指定管理者へ業務を丸投げするのではなく、市としての長期的な責任をしっかりと負って、チェック機能を働かせながら指定管理者と連携を深めていくべきである。

指定管理者と市との連携を深める方策として、施設の利用者や子どもたちなどと意見交換ができる場を持ち、いろんな世代の人たちが活用できる施設をめざしていくべきであり、そういう生涯学習複合施設のあり方をしっかり検討していかなければならない。

諸 報 告

番 号	報 告 事 項
1	「令和 2 年門真市成人祭」の結果について